

アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験

募集定員

学部・学科および募集定員(1ページ)を参照してください。

出願資格

次のすべてに該当する方です。

- ①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または平成30年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または平成30年3月までに取得見込みの方
- ②出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、かならず入学手続きをする意志のある方
- ③出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

入学検定料

第一次選抜 **無 料** 第二次選抜 **33,000円**

選抜方法

第一次選抜と第二次選抜の評価を総合して最終的合否を判定します。

(1)第一次選抜

最初に「第一次選抜審査申請書」を提出し、それをもとに書類審査と面接を行います。書類審査と面接(経済学科はグループ・ディスカッションおよび面接、地域構想学科はプレゼンテーションおよび面接)によって、A、B、C、Dの4段階で評価します。ただし、書類審査の結果により面接を行わない場合もあります。評価結果は、評価通知日(予定)に出願者へ(現役生には学校を通して)通知します。

〈第一次選抜の評価結果について〉

- A：特段の事情がないかぎり合格とする
 - B：合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは不合格もありうる
 - C：不合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは合格もありうる
 - D：不合格とする
- この評価でA～Cまでの方が第二次選抜に出願できます。
また、第二次選抜においても、この第一次選抜での評価が大きな比重を占めます。

(2)第二次選抜

第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が出願できます。小論文と面接の試験を行い、その結果と第一次選抜における評価を総合して最終的に合否を判定します。

試験科目	第一次選抜	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

〈試験内容〉

①小論文

【文・経済・経営・法・教養学部】
与えられた文章の要旨のまとめや、それに対する自分の意見の論述などをします。(60分/800字程度)

【工学部】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述などをします。(60分/600字程度)

②面接

二人の面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)

ここがポイント!

前年度の小論文の問題は33、34ページに掲載しています。評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。34ページの「小論文作成のアドバイス」を参考にしてください。

試験日程

教育学科はB日程からの出願となります(予定であり、変更になる場合もあります)。

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間(予定)	評価通知日(予定)	出願期間	試験日	合格発表日
A日程	I期 8月17日(木)～8月22日(火) 15時必着	8月31日(木)～9月7日(木)	9月13日(水)	10月26日(木)～11月1日(水) 15時必着	11月9日(木)	11月17日(金)
	II期 9月5日(火)～9月11日(月) 15時必着	9月21日(木)～10月4日(水)	10月11日(水)			
B日程	11月14日(火)～11月20日(月) 15時必着	11月27日(月)～11月30日(木)	12月4日(月)	12月6日(水)～12月11日(月) 15時必着	12月16日(土)	12月22日(金)

※出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付処理します。

試験場

	文・経済・経営・法学部	教養学部	工学部
第一次選抜	土樋キャンパス	泉キャンパス	多賀城キャンパス
第二次選抜	泉キャンパス		
		土樋キャンパス	

合格発表

A日程 平成29年11月17日(金) } 14時
B日程 平成29年12月22日(金) }

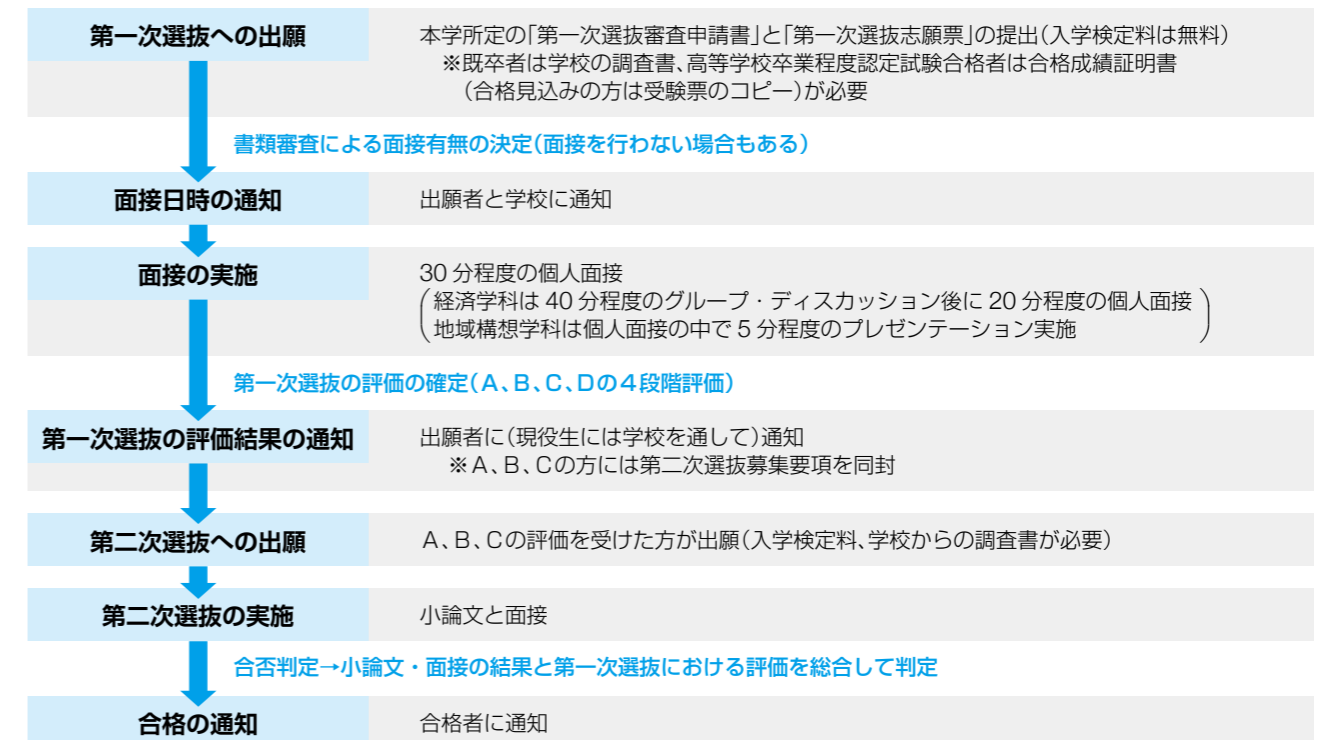
合格者には当日消印の速達で合格通知書を郵送します。また、14時からは合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォン、携帯電話、電話で合否を確認することができます。

入学手続

A日程 平成29年12月8日(金) } 15時必着
B日程 平成30年1月10日(水) }

入学手続は、入学時納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

AO入試の出願から合格発表までの流れ



AO 入試第一次選抜審査申請書(見本)

平成30年度 東北学院大学
アドミッションズ・オフィス(AO)による入学試験
第一次選抜審査申請書

【注意】1. 「記入上の注意」をよく読んでから記入してください。
2. 出願の際にはこの申請書と第一次選抜志願票のほかに、指定の返信用封筒1枚(自分の住所・氏名を宛先に明記し、362円分の切手貼付)を同封してください。また、高等学校や中等教育学校既卒の方は出願校の「調査書」を、高等学校卒業程度認定試験を受験している方は「受験票のコピー」、合格した方は、「成績証明書」を添付してください。

フリガナ
氏名
生年月日
現住所
志望学部学科
学部
学科
受付番号
写真貼付欄
写真(正面上半身撮影)出願前3ヵ月以内に撮影したものを、普通2サイズを1枚はし、枠にあわせて貼ってください。万が一はがれた場合のために、写真裏面には必ず氏名を記入してください。(横3cm×縦4cm)

出願校
都・道(国立公立私立) 学校 科
府・県 (昭和・平成 年 月; 卒業見込・卒業・認定) コース

現在の身分
1. 高校・中等教育学校生 2. 予備校生 3. 自宅で受験勉強 4. 社会人 [職業] 5. その他 []

次 の I ~ VII の質問に 応えてください (自分の考えを自筆で書くこと)。

I. あなたが 出願した 本学の 学部 学科 に 入学を 強く 希望する のは、特に どの 理由 から ですか。

II. あなた が 特別 に AO 入試 に 出願した のは どの 理由 から ですか。

III. あなた が、出願した 本学の 学部 学科 に 入学できた とき、その 学部 学科 で 学ぶ 学生 として、積極的 で 有意義 な 学生 生活 を 送る ことができると 考える のは 特別 に どの 理由 から ですか。あなた が 持っている 能力、資質、適性、経験、資格 など を 紹介しながら、特別 に アピール したい ことを 書いて ください。
※なお、記入にあたっては、「受験ガイド2018」または「AO入試募集要項」に載っている「AO入試における重要評価点(学科別)」をよく読んでください。

IV. あなた が これまで 習った (習っている) 科目 のなかで、成績 の 良い 悪い とは 関係なしに、最も 興味 を もった 科目 を 2つ 挙げて ください。また、それら には、特に どの 点 (あるいは 内容・領域) で 興味 を もちました か。

V. ここ 数年 の 間に 起こった 出来事・現象 のなかで、あなたが 最も 興味 を 感じ たものを 2つ 挙げて ください。また、それら には、特に どの 点 で 興味 を 感じました か。

VI. 現在の あなたの 生活 において、あなたが 最も 充実した 時間を 過ごしている と 感じる のは、どの とき ですか。

VII. あなた は、どの 大学 生活 を 送りたい と 考えて います か。

指導教員の所見欄
高等学校・中等教育学校・予備校からの出願者について、本学が出願者を評価するうえで、参考になることがあります。クラス担任等の教員が記入してください。

記載者 印

【連絡先】
学校・予備校名
学校の住所 〒 - -
電話 - - FAX - -

学校における評定平均値 (全体の評定平均値と平均値の高い5教科について記入)

現役生について学校の教員が記入してください (既卒者・高等学校卒業程度認定試験合格者は不要です)。	教科	全体					
	国語						
	数学						
	英語						
	社会						
	理科						

【注意】 右記の学部学科への出願者は、指定された教科の評定平均値を必ず記入してください。

文学部 英文学科	外国語(英語)
経済学部 経済学科	国語【数学】外国語(英語)
経済学部 共生社会経済学科	国語【数学】外国語(英語)
経営学部 経営学科	国語【数学】外国語(英語)
法学部 法律学科	国語【数学】外国語(英語)
工学部 機械知能工学科	国語【数学】外国語(英語)
工学部 電気電子工学科	国語【数学】外国語(英語)
工学部 環境建設工学科	国語【数学】外国語(英語)
工学部 情報基盤工学科	国語【数学】外国語(英語)
人間科学部 人間科学科	国語【数学】外国語(英語)
教養学部 言語文化学科	国語【数学】外国語(英語)
教養学部 情報科学科	国語【数学】外国語(英語)
地域構想学部 地域構想学科	国語【数学】外国語(英語)

見本

AO 入試における重要評価点(学科別)

学部・学科	重要評価点
英文学科	<ol style="list-style-type: none"> 十分な学力の裏付けがあること。 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること(第一次選抜の面接において、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある)。英語外部試験の成績を第一次選抜の得点に反映させるので、成績証明書(コピー不可)を第一次選抜の面接時に持参すること。 知的好奇心が旺盛であること(第一次選抜の面接において、読書経験について答えてもらう場合がある)。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。 英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉強プランをもってのこと。
総合人文学科	<ol style="list-style-type: none"> 思想・哲学・文化・芸術・宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有していること。 英語をはじめとした基礎学力を有していること。 読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもってのこと(第一次選抜の面接で読書経験を尋ねられることがある)。 社会に対して強い関心をもち、積極的にかわらうとする姿勢を有していること。
歴史学科	<ol style="list-style-type: none"> 歴史に関する基礎知識を有していること。 歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある)。 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。
教育学科	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛であること。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができること。 人の学びと教育に関して、強い関心を持っていること。 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもってのこと。
経済学部 経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 基礎学力が十分にあること。 経済学部の理念、教育目標・到達目標について理解していること。 経済学部の開講科目に強い関心をもち、学ぶ目的がはっきりしていること。 社会・経済の動きに強い関心をもち、その背後にある理由や解決策を探求したいという強い意欲をもってのこと。 論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。
経済学部 共生社会経済学科	<ol style="list-style-type: none"> 共生社会経済学部の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 共生社会経済学で学びたいという明確な意志をもち、それを自分の言葉で表現できること。 ボランティア活動や国際交流など、人と人との共生に関連する活動に、積極的に取り組もうとする意欲をもってのこと。
経営学部 経営学科	<ol style="list-style-type: none"> 本学部で学ぶための基礎学力があること。基礎学力とは、国語・数学・英語の学力である。 本学部を志望する経緯について明確に説明できること。 本学部に入学することによって何を学ぼうとし、それを将来どのように活かすかについての明確なビジョンをもち、説明できること。 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問をもったことについて、自ら進んで調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること。
法学部 法律学科	<ol style="list-style-type: none"> 学力が本学法学部で学ぶための水準に達していること。 本や新聞などを通して、社会への関心と知識をもってのこと。 法学部で学ぶ内容を理解しており、そのうえで、本学部での勉学を行う十分な意欲をもってのこと。 またこうしたことを、筋道を立てて自分なりの言葉で表現できること。 <p>※面接の際には、読書アンケートを実施することがある。</p>
工学部 機械知能工学科	<ol style="list-style-type: none"> 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力をもち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもってのこと。 AO入試により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。 技術者として必要な自立・自律する心を育てること、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもってのこと。 学科のカリキュラムについての調査および把握をしたうえで、大学での勉学に対する意欲をもってのこと。
工学部 電気電子工学科	<ol style="list-style-type: none"> 電気電子工学科の教育内容を十分に理解したうえで、AO入試を選択した理由、勉学目標と目標を明確に説明できること。 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。 先端科学技術に強い関心をもち、強い学習意欲と高い目標をもってのこと。
工学部 環境建設工学科	<ol style="list-style-type: none"> 環境、土木、建築での学習に必要な基礎学力を有していること。 環境、土木、建築で不可欠な科目(数学、力学、計画、設計製図、実験など)を学ぶ強い意欲があること。 環境、土木、建築の技術者として、社会への貢献を希望していること。
工学部 情報基盤工学科	<ol style="list-style-type: none"> IT分野に強い関心があり、日常から関連分野の知識を習得する意欲があること。 本学科で学ぶために必要な高等学校数学の基礎的学力を有すること(面接では数学Iについて質問します。35ページAO入試Q&A参照)。 本学科で学ぶ心構えと意欲があり、かつ計画的な学習ができること。
人間科学部 人間科学科	<ol style="list-style-type: none"> 人間や社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解する基礎的な学力を有すること。 人間や社会の問題を実証的に分析する基礎となる数学的思考力を備えていること。 自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。 人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。
教養学部 言語文化学科	<ol style="list-style-type: none"> 英語をはじめとした基礎学力を有していること(第一次選抜の際、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある)。 ドイツ語、フランス語、中国語、あるいは韓国・朝鮮語を、第二外国語として学ぶ強い意欲があること。 言語と文化をめぐって探究する諸分野、とりわけ諸社会の生活文化(衣食住、コミュニケーション、家族、ジェンダー、民族、宗教など)や表現文化(文学、思想、映画、演劇、美術、音楽など)について、的確な理解と興味を有していること。 自分の考えや興味関心を、筋道を立てて説明できること。
教養学部 情報科学科	<ol style="list-style-type: none"> 大学で学ぶための基礎学力と理解力をもち、情報システム系、数理学系、自然科学系のいずれかの科目に強い関心をもってのこと。 情報科学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。 一般社会における情報技術の必要性や役割を理解し、関連する諸学問分野にも広く関心があること。 自分の考えについて、筋道を立てて自分なりの言葉で表現できること。
地域構想学部 地域構想学科	<ol style="list-style-type: none"> 本学科で学ぶための十分な学力を有し、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できること。 「よりよい地域づくり」に強い関心をもち、それを深く探求・解決しようとする意欲があること(第一次選抜の際、「よりよい地域づくり」について5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。 校内外の活動に積極的に取り組んできた経験をもち、そのことをアピールする表現力と説得力をもってのこと。 将来も地域に積極的に関わっていくという明確な目的と意欲をもってのこと。